

J F A第12回全日本U-18フットサル選手権大会 栃木県大会要項

- 1 名 称：J F A第12回全日本U-18フットサル選手権大会栃木県大会
- 2 主 催：公益社団法人 栃木県サッカー協会
- 3 主 管：公益財団法人 栃木県サッカー協会フットサル委員会 栃木県フットサル連盟
- 4 期 日：2025年5月5日（月祝）
- 5 会 場：マルワ・アリーナとちぎ（栃木市）
- 6 参加資格：

(1) フットサルチーム登録の場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」とする。）に「フットサル2種」または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。（準加盟チームを含む）一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降、2013年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとしない。

(2) サッカーチーム登録の場合

- ① 日本協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。（準加盟登録チームを含む。）一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する2007年4月2日以降、2013年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。準加盟チームについては、その限りとしない。
- ④ 高体連加盟チーム、および学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高専、第124条の専修学校、第134条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規定に準じる。

(3) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。

所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手は、本大会において複数のチームで参加できない。

(5) 引率者は当該チームを指導・掌握し、責任を負うことのできる20歳以上の者であること。

なお、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

(6) 参加チームは、傷害保険（スポーツ傷害保険）等に参加していること。

(7) チームにフットサル審判資格を取得している者が2名以上いること。

※ 資格保有者が2名以上いない場合は、以下の取得講習会を受講して取得すること。

期日 2025年4月27日（日） 9：30受付 15：50終了予定

場所 清原工業団地管理センター 大会議室／大ホール

申込期間 2025年4月1日～4月20日（日）

（公財）日本サッカー協会のホームページの『KICK OFF』から申し込むこと。

定員オーバーで申し込みができない場合は、要相談。

7 参加チーム：参加チームは、上限を6チームとする。

ただし、1団体からの出場チーム数は上限を2チームとする。

8 大会形式：原則として、リーグ戦方式およびノックアウト方式で行う。

※参加チーム数によって競技形式を変更する場合もある。

(1) 1次ラウンド：リーグ戦を行い、各グループ上位2チームが決勝ラウンドに進出する。

順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引き分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

① 当該チーム内の対戦成績

② 当該チーム内の得失点差

③ 当該チーム内の総得点数

④ グループ内の総得失点差

⑤ グループ内の総得点数

⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム

(ア) 警告1回 1ポイント

(イ) 警告2回による退場1回 3ポイント

(ウ) 退場1回 3ポイント

(エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント

⑦ 抽選

(2) 決勝ラウンド：ノックアウト方式で優勝チームを決定する。

9 競技規則：大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

10 競技会規定：以下の項目については、本大会で規定する。

(1) ピッチ：原則として、40m×20mとする。（使用会場による）

(2) 使用球：日本サッカー協会公認フットサル用ボール4号球とする。

(3) 競技者の数

① 競技者の数：5名

② 交代要員の数：9名以内

③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内。

準加盟チームについては、その限りとししない。

(4) チーム役員の数：3名以内 ただし、通訳が登録している場合は4名以内

(5) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。

（正・副2着以上が望ましい。）

※ 関東大会では正・副2着のユニフォームを持参しなければならない。

- (ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
ただし、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォーム等で代用することができる。
 - (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示に生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。
 - (ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
 - (ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
 - (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
 - (サ) ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
 - (シ) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
 - (ス) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
 - (セ) 膝および腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と（腕のプロテクター）、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色（膝のプロテクター）と同じ色でなければならない。色が合わせられない場合、シャツの袖やショーツ（またはトラックスーツのパンツ）がどのような色であっても、黒または白のプロテクターを着用することができる。シャツの袖またはショーツ（またはトラックスーツのパンツ）と色が合わないプロテクターを着用する場合、そのプロテクターはすべて同じ色でなくてはならない。（黒か白で）
※ プロテクターの色組み合わせは競技者一人一人に適用され、各チームすべての競技者のプロテクターが同じ色、同じ組み合わせである必要はない。
 - (ソ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。
- ② **キャプテンアームバンド**：チームキャプテンは、日本協会ユニフォーム規定に準拠したアームバンド、または単色のアームバンドを着用しなければならない。
- ③ **靴**：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地

面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、または体育館用のシューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。ただし、ノンマーキングシューズは、靴底が着色されたものの使用は施設が許可している場合にのみ使用可能となるため、十分に注意すること。）

④ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間：30分間（各15分間からなる2つのピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

※ ただし、参加チーム数により試合時間・計測方法を変えることがある。

(7) キックオフ：コイントスに勝ったチームが第1ピリオドまたは第2ピリオドのどちらにキックオフを行うかを定める。また、延長戦が行われるときも同様。

(8) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

① 準決勝までは延長は行わず、PK戦により勝敗を決定する。

PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

② 決勝のみ6分間（各ピリオド3分間）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝敗を決定する。延長に入る前のインターバルは3分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。

③ 一方のチームの責に帰すべき事由により、試合開催不能または中止となった場合（不戦敗等）は、その責に帰すべきチームは0対5で敗戦したものとみなす。

(9) 試合登録においてチーム役員および選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手の中からチーム役員として登録でき、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。

(10) メンバー表に記載されている選手が試合開始前（審判によるエキップメントチェック）に不在の場合は、以下のとおりとする。

① 第1ピリオドキックオフ後、第2ピリオドキックオフ前にピッチに到着した場合

第1ピリオドは出場できず、ベンチに入ることもできない。ハーフタイムの時間内に主審の承認を得る。第2ピリオドより試合に出場できる。

② 第2ピリオドキックオフ後、ピッチに到着した場合

試合に出場できず、ベンチに入ることもできない。

(11) 試合中の飲料は水の他、スポーツドリンク、経口補水液も可とする。ただし、指定された場所でのみ認める。ピッチ内での飲水は認めない。

11 懲 罰：

(1) 本大会において退場を命じられた選手は・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の大会規律委員会において決定する。

(2) 本大会の期間中に警告を2回受けた選手・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場ができない。

(3) 前項により出場停止処分を受けたときに、大会終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。

(4) 本大会終了時の未消化となる出場停止処分は、関東大会を懲罰規定上の同一競技会とみなし、順次消化するものとする。関東大会に出場しない場合は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。本大会の大会規律委員長は、栃木県協会フットサル委員長とする。

12 組み合わせ：代表者会議の時に抽選を行う。

13 参加申込み：

- (1) 1チームあたり24名（選手20名、役員3名 通訳を含む場合は4名以内）を上限とする。
(2) チーム名は短縮語（SCやFC等）を除き、日本語表記でなければならない。
(3) 申込みは、『大会登録兼参加申込書』に必要事項を記入の上、申込期日までにメールで提出すること。

- ① 『大会登録票兼参加申込書』 エクセルデータで送付すること。（PDFは不可）

（公社）栃木県フットサル委員会 梅澤 メールアドレス tochigi.ff.2002@gmail.com

申込み締切 2025年4月23日（水）

- ② 『プライバシーポリシー同意書』

- ③ 『大会参加費納入報告書』 振込明細書のコピーを添付（申込み締め切り日までに納入すること）

- ④ 『ユニフォーム広告掲示（回答）の写し（ユニフォームに広告等がある場合）』

※ ②・③・④は代表者会議（大会当日）に持参すること。

- (4) 前項の申込み締切日以降の参加申込み内容の変更は認めない。

14 参加費：25,000円（サッカー登録チーム 27,000円）

注）サッカー登録チームは、栃木県フットサル連盟チーム分担金2,000円を加えて振り込むこと。
（複数チーム参加の場合は、まとめて納入すること。）

振込先口座：足利銀行 一条町支店 普通 3298034

公益社団法人栃木県サッカー協会（一般） 代表理事 橋本健一

※ 必ず「チーム名」を明記して、申込み締切日までに振込のこと。

15 代表者会議・マッチコーディネーションミーティング：

チーム代表者は必ず代表者会議およびマッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。
代表者会議に無断で欠席した場合は、失格とする。ただし、その可否については主催者が決定する。

(1) 代表者会議

日 時：2025年5月5日（月祝） 9：15～

場 所：会場にて行う。

＜提出する物＞

- ① 『プライバシーポリシー同意書』

- ② 『大会参加費納入報告書』 振込明細書のコピーを添付

- ③ 『ユニフォーム広告掲示（回答）の写し（ユニフォームに広告等がある場合）』

(2) マッチコーディネーションミーティング

マッチコーディネーションミーティングは、前の試合の第1ピリオド終了時から行う。ただし、第1試合目については、試合開始30分前とする。15分以上の遅刻の場合は、不戦敗（0-3）とする。

＜持参するもの＞

- ① ユニフォーム（正・副）、ビブス（2色）

- ② メンバー表（4枚セット/試合）

- ③ 選手証・登録選手一覧

16 選手証：

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付

により、顔の認識ができるものであること。

※ 選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

17 表 彰：優勝・準優勝・第3位のチームには、賞状を授与する。

18 関東大会出場権：

優勝チームは、関東大会に出場する義務と権利を有する。

開催日程：2025年6月8日（日）・29日（日）

開催地：茨城県／水海道総合体育館、取手グリーンスポーツセンター

19 その他：

- (1) 大会運営・競技進行を円滑に行うため、参加チームは別紙『競技運営について』を参照し、周知・徹底のこと。
- (2) 試合日程は、栃木県協会フットサル委員会内で協議し決定する。
- (3) 参加チームは、栃木県協会フットサル委員会において特別な事情がある場合、日程等の変更に応じなければならない。
- (4) 大会要項に違反、その他不都合な行為のあった場合、その選手またはチームの処分を本大会規律委員会で決定する。
- (5) 傷病手当については、救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置すること。参加チームの責任において、選手およびチーム役員は傷害保険に必ず加入すること。
- (6) ケガなどの事項が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。
- (7) ピッチレベルでの水分等の補給は、指定した場所でのみ認める。ピッチ内は認めない。
- (8) ごみはすべて各チームで持ち帰ること。
- (9) 喫煙は、指定された場所以外ではしないこと。その際、靴の履き替えを徹底する。
- (10) 指定された場所以外でのボールの使用は禁止する。
- (11) 会場準備および会場の片づけについては、大会事務局の指示に従い参加チームで行うこと。
- (11) 本大会参加に掛かるチーム経費は、すべて参加者負担とする。
- (12) 本大会の試合に関する動画・写真の権利はすべて栃木県フットサル委員会に帰属する。また、肖像権等の使用は、栃木県フットサル委員会の承認を必要とする。
- (13) 本要項に定めのない事項については、栃木県フットサル委員会において協議の上決定する。